

第1夜

4月4日 (月) Apr. 4 (Mon)



田崎 隆三
Ryuzo Tazaki



野村 萬齋
Mansai Nomura

火入式 Fire Ceremony
舞囃子「小袖曾我」
Maibayashi “Kosodesoga”
シテ 田崎 甫
辰巳 和磨
笛 藤田 貴寛
小鼓 飯田 清一
大鼓 柿原 光博
地謡 広島 克栄
水上 優
和久荘太郎
亀井 雄二
東川 尚史

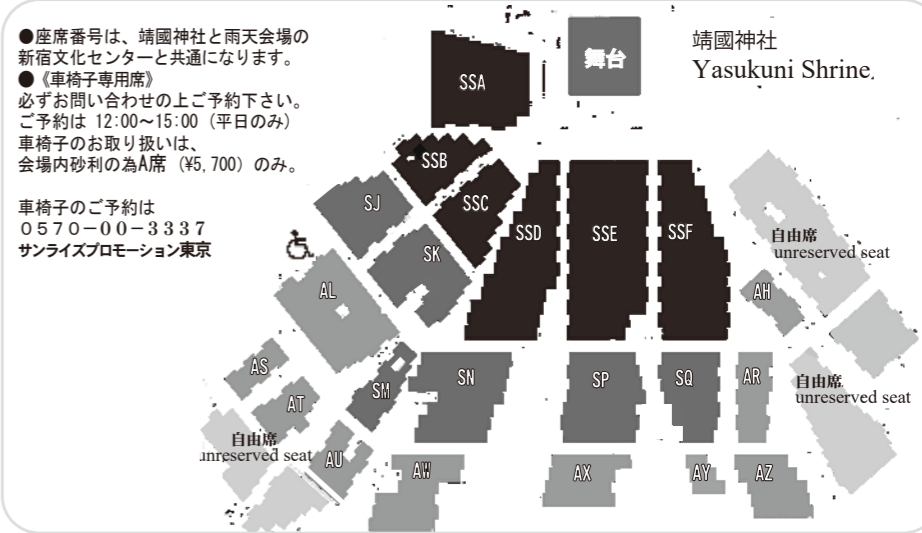
狂言 「文相撲」
Kyougen “Fuzumo”
シテ 野村 萬齋
アド 石田 幸雄
アド 野村 太郎

能 「羽衣 盤渉」
Noh “Hagoromo”
シテ 田崎 隆三
ワキ 殿田 謙吉
笛 藤田 貴寛
小鼓 飯田 清一
大鼓 柿原 光博
太鼓 小寺真佐人

後見 広島 克栄
水上 優
田崎 甫
地謡 武田 孝史
佐野 登
小倉伸二郎
和久荘太郎
亀井 雄二
東川 尚史
今井 基
辰巳 和磨

狂言「文相撲」(ふずもう)
新しく雇った男の得意芸が相撲と聞いた大名が、自ら相手をして負けてしまいます。大名は相撲の書を読んで再戦しますが、また負けてしまい、腹いせに太郎冠者を打ち転がして…。

能「羽衣 盤渉」(はごろも ばんしき)
三保の松原にかかる天人の羽衣。見つけた漁夫白竜が家の宝にしようを持ち帰ろうとすると、どこからか美しい乙女が現れ、衣を返して欲しいと頼みます。乙女は松に羽衣をかけ忘れた天人でした。白竜は衣を返す代わりに、天人の舞を所望します。羽衣を身に付けた天人は、美しい舞を舞いつづけ、やがて霞にまぎれるように昇天してしまいます。



●座席番号は、靖國神社と雨天会場の新宿文化センターと共通になります。
●《車椅子専用席》必ずお問い合わせの上ご予約下さい。ご予約は 12:00~15:00 (平日のみ) 車椅子のお取り扱い、会場内砂利の為A席 (¥5,700) のみ。

車椅子のご予約は
0570-00-3337
サンライズプロモーション東京

第2夜

4月5日 (火) Apr. 5 (Tue)



宝生 和英
Kazufusa Hosho



野村 万作
Mansaku Nomura

火入式 Fire Ceremony
舞囃子「田村」
Maibayashi “Tamura”
シテ 大坪喜美雄
笛 一噌 幸弘
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 亀井 広忠
地謡 辰巳満次郎
小倉健太郎
當山 淳司
辰巳大二郎
木谷 哲也

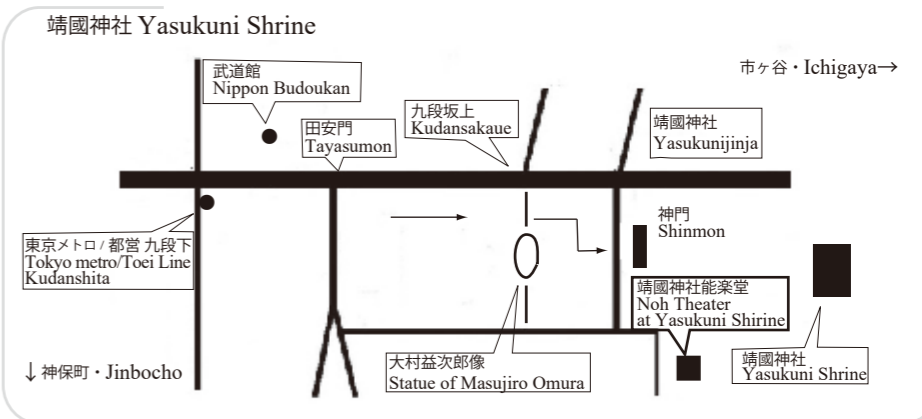
狂言 「清水座頭」
Kyougen “Kiyomizuzato”
シテ 野村 万作
アド 野村 萬齋

能 「高砂 作物出」
Noh “Takasago”
シテ 宝生 和英
ツレ 藪 克徳
ワキ 宝生 欣哉
間 野村 裕基
笛 一噌 幸弘
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 亀井 広忠
太鼓 金春惣右衛門

後見 田崎 隆三
佐野 玄宜
田崎 甫
地謡 大坪喜美雄
佐野 由於
辰巳満次郎
小倉健太郎
當山 淳司
佐野 弘宜
辰巳大二郎
金森 良充

狂言「清水座頭」(きよみずざとう)
互いに伴侶を探す瞽女(ごぜ)と、座頭が清水の観世音に参籠します。そこで座頭は瞽女にけつまづき、お互いに相手の不注意をなじますが、どちらも盲目とわかり仲直りし酒を酌み交わします。その夜、夢のお告げを受けた二人は、それぞれ西門へ行くと…。

能「高砂 作物出」
(たかさご つくりもので)
阿蘇の神職友成は高砂の浦で、松の木陰を掃き清める老人夫婦に出会います。二人は様々な故事をひいて松のめでたさを語り、相生の松の精であることも明かし和歌の徳を説き、住吉で待つと告げて、船に乗り沖に消えていきます。その後、住吉明神が現れ千秋万歳を寿いで、颯爽と舞を舞います。



靖國神社 Yasukuni Shrine

↓ 神保町・Jinbocho

第3夜

4月6日 (水) Apr.6 (Wed)



梅若 実
Minoru Umewaka



野村 萬
Man Nomura

火入式 Fire Ceremony
舞囃子「難波」
Maibayashi “Naniwa”
シテ 山崎 正道
笛 松田 弘之
小鼓 大倉源次郎
大鼓 大倉慶乃助
太鼓 林 雄一郎
地謡 梅若長左衛門
小田切康陽
角当 直隆
松山 隆之

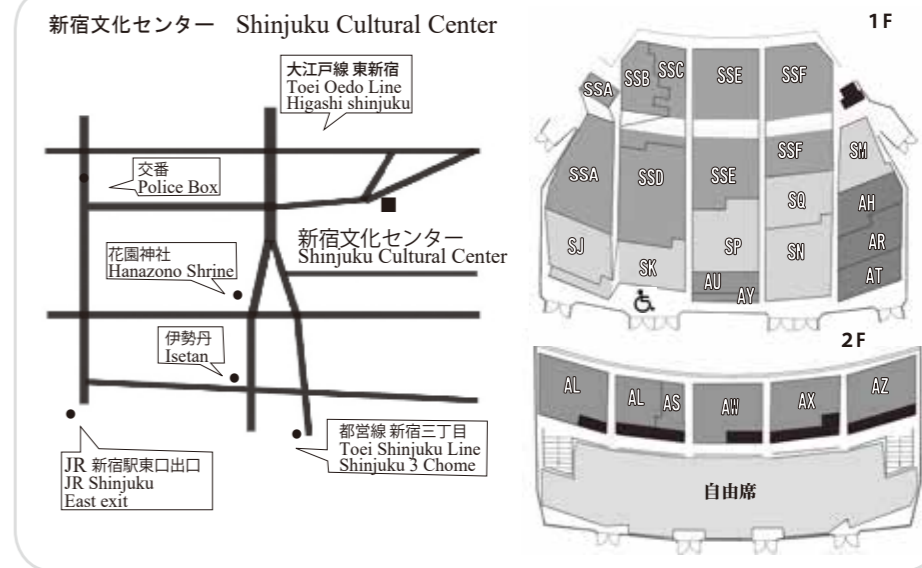
狂言 「樋の酒」
Kyougen “Hinosake”
シテ 野村 萬
アド 野村 万蔵
アド 野村 万之丞

能 「土蜘蛛 入道之伝・白頭」
Noh “Tuchigumo”
シテ 梅若 実
ツレ 梅若 紀彰
ツレ 観世 喜正
ツレ 伶以野陽子
ツレ 土田 英貴
ワキ 川口 晃平
間 森 常好
笛 野村拳之介
小鼓 松田 弘之
大鼓 大倉源次郎
太鼓 大倉慶乃助
林 雄一郎

後見 梅若長左衛門
小田切康陽
松山 隆之
地謡 角当 行雄
松山 隆雄
山崎 正道
角当 直隆
永島 充
坂 真太郎
佐久間二郎
鷹尾 雄紀

狂言「樋の酒」(ひのさけ)
主人の留守に酒蔵を預かる次郎冠者。別の蔵を預かる太郎冠者。家来二人は蔵に閉じ込められます。太郎冠者に酒を届けるには…。そこには酒を飲むのいうってつけの樋があって…。

能「土蜘蛛 入道之伝・白頭」
(つちぐも いれちがいでん・しろがしら)
源頼光は病床にあります。そこに怪異な値が現れ、頼光に蜘蛛の糸を投げかけます。枕元にあった刀で斬りつけますが僧の姿は消えてしまいます。血痕をたどり、葛城山に棲む土蜘蛛の精の古塚にたどり着き、頼光の家来達が力を合わせ化生の物を退治します。土蜘蛛の精が縦横無尽に繰り出す千筋の糸は、アクションドラマさながらに見る方々を魅了します。



新宿文化センター Shinjuku Cultural Center

JR 新宿駅東口出口
JR Shinjuku East exit

コロナウイルス感染防止対策にご協力ください
Please cooperate with these coronavirus infection prevention measures.



Normal temperature is OK!
Mask and hand disinfection!
Please refrain from talking in the venue as much as possible.
A fever of 37.5°C or higher, cough, etc., you cannot enter.

※感染予防対策
・マスク着用必須・検温・咳エチケット・手指消毒にご協力ください
・発熱が確認された場合は、ご来場をお断りする場合があります
・発熱等体調不良の方はご来場をご遠慮ください
・チケットはお客様に予めもぎっていただき、スタッフが確認後、指定の箱にお入れください。
・最新情報は夜桜能公式 HP に掲載。
・余裕を持ってご来場ください。

《夜桜能事前講座のご案内》

今年の事前講座は、3月10日より無料デジタル配信を予定しています

講師:宝生流能楽師 田崎 甫

時間などの詳細は公式HPに掲載



《注意事項》※野外会場のため、客席の傾斜はありません。桜の枝なので視界を一部ささげる席も生じ得ることを予めご了承下さい。
その場合、払い戻し、キャンセルはできませんが、お近くの係員にご相談下さい。但し舞台の柱や薪など、舞台上不可欠のものや前の方の頭などはご容赦願います。※上演途中で天候が悪化してきた場合、一曲の終了をもって公演成立とさせていただきます。※新宿文化センターに変更になった場合や、出演者・内容に変更が出た場合、入場券の払い戻し・交換・キャンセルなどはできませんので、予めご了承ください。
《物販》ガイドブック・夜桜能手ぬぐい等を開場後に販売致します。飲食販売・貸しひざ掛けは感染予防のため、今回もございません。

主催：株式会社フジテレビジョン・一般社団法人夜桜能
後援：千代田区観光協会
特別協賛：東洋熱工業株式会社
企画制作：宝隆会株式会社
制作協力：(株)ムラヤマ / (株)協栄 / (社)宝生会 / (財)梅若会

Organized by : Fuji Television Network, Inc/Institute yozakura-noh
Supported by : Chiyoda City Tourism Association
Special Sponsor : Tonets Corporation